

東京外かく環状道路都市計画案に対する意見について

中国の上海をはじめとした東アジア諸都市の台頭が著しい中、これらの都市との競争に勝ち抜き、今後も東京が東アジアの主要都市としてあり続けるためには、地震などの災害時にも活躍する物流ネットワークを確保し、首都機能を維持していかなければならない。

そのためには、三環状道路の早期整備が必要不可欠である。

これら三環状道路のうち、外かく環状道路の練馬区大泉より南側の区間については、今回の都市計画の変更により、旧来の地上交通から地下方式という新しい計画に生まれ変わることで、環境への配慮がされようとしている。

そこで、今後は、在来高速道路との連絡や地上の一般道路との連携などの地域の個別課題について、引き続きPI 会議を活用しながら議論を深め、外かく環状道路が世界に誇れる高速道路として早期に整備されることを望みます。

とりわけ、調布市においては、仙川、中央道及び外かく環状道路に挟まれた地域、いわゆる三日月地域における地域分断が大きな問題であり、地域版PI 会議なども活用し、地元地域住民と十分な話し合いを行いながら、事業を進めていただきたい。

また、外かく環状道路を整備するにあたっては、トンネル内の交通事故対策として車間距離を自動的に確保できる先端システムの導入、ジャンクションを「道の駅」としての休憩や給油機能の確保、高速バスや路線バスへの乗り換え機能の確保によるパーク&バスライドの導入や物流の集荷機能の設置などを検討されてはいかがでしょうか。きっと、諸外国からの視察団の来訪がひっきりなしになること間違いのないと思います。

最後に、今回の事業に併せてインターチェンジへのアクセス道路をしっかりと整備し、通過交通の生活道路への流入を排除し、世界から「21世紀のモデル的な高速道路事業」と評価、注目されるようになることを強く要望して、意見表明といたします。